

最高の思い出

青連合チームリーダー

私にとって応援幹部という立場は、3年間で初めての経験でした。最後の涼秋祭を盛り上げたいという気持ちで立候補し「最高に楽しみ、最高の思い出を作る」という目標を掲げみんなに伝えました。ありがたいことにクラスみんなに選ばれ、また青連合の会議の中でチームリーダーとして認められました。

最初は青連合の誰もが、不安を感じながらのスタートだったと思います。しかし、応援幹部のみんなが家でも案を考え、協力しあった結果とてもいいものを作り上げることができました。また全ての学年が協力し一つのものを作り上げる楽しさも知りました。

そして最高の名誉である四冠を勝ち取りました。自分達が連合で掲げていた伝説を残すという目標を見事達成できました。これは応援幹部だけではなく指示をしっかり聞いて実行してくれた各学級みんなのおかげでもあります。青連合が一体となり勝ち取ることができた称号だと思いました。

最後に3年間最後の涼秋祭を最高の思い出にしてくれてありがとうございました。



涼秋祭を振り返って

赤連合チームリーダー

今回、赤連合チームリーダーという大きく憧れた舞台に立ってみて、私は色々なことに気づくことができました。まずは自分1人ではできないということです。私は昨年のチームリーダーに憧れてこの舞台に立たせていただきましたが、それは極めて困難でした。そんな涼秋祭の中で私が一番意識したことは、全てにおいて趣旨を考えるということです。勝つことや楽しむこともとても大切ですが、涼秋祭の意味を考えた時に私が思ったことは、クラスや学年を超えた協力や仲を深めるためではないのかと考え、それをみんなに伝えることを意識しました。面白く楽しくも全力でやれて涼秋祭のやる意味もわかっている、一番小針中学校が成長した時なのではないのかなと感じました。

私はこの仕事を終え、結果は悔しくなってしまうしましたが、全ての連合の人が最高だったと言える涼秋祭だったと思います。改めて今まで涼秋祭を共に作ってくれた仲間たち、そして、涼秋祭に関わってくださった方々、本当にありがとうございました！赤連合、最高！！



アイシテルミドレン

緑連合チームリーダー

今年の涼秋祭、あの日は間違いなく中学校生活で一番最高の日でした。

私がチームリーダーとして一番強く感じたのは、「みんなに支えられていた」ということです。

最初はリーダーとして力不足だと思う場面も多く、不安や心配が大きかったのですが、それでも頑張っていたのは応援幹部みんなのおかげです。

そして、応援練習の中で、ダンスが苦手なのに本気で覚えようとしてくれた人、誰よりも大きな声を出してクラスを引っ張ってくれた人など、その一人一人の姿を見るたびに、「この連合のチームリーダーでよかった」と心から思いました。

涼秋祭当日、みんなが笑顔で競技をしたり、それを応援したりしている姿を見た時、心が熱くなりました。本部前応援での、「アイシテルニイガタ」は最高でした。と、ここで一句。肩を組み大声出した本部前

結果は3位で、少し悔しさが残ったけれど、それ以上に大切なものを得られました。

最後に、緑連合の皆さんありがとうございました！アイシテルミドレン！！



笑顔届ける黄連合

黄連合チームリーダー

私は一、二年生の頃、応援幹部をしていてその時の三年生に憧れチームリーダーをやりたいと思っていました。そして、今年黄連合チームリーダーを務めさせていただきました。

最初の頃の黄連合はバラバラで私自身が上手くまとめることが出来ず、本当に私がチームリーダーで良かったのかなど不安に思うことが沢山ありました。でも三年生の幹部のみんなで積極的に意見を出し合い結果的にまとめることが出来ました。黄連合は本番直前に隊形移動の変更があり本番上手くできるかなという不安もありましたが黄連合の皆が私の話をしっかり聞いてくれたおかげで本番の本部前応援では今までにないくらい最高の出来栄でした。黄連合の先生方にも「今まででいちばん良かったよ」「黄連合の応援素敵だったね」と言ってもらえてとても嬉しかったです。結果としては賞をとることはできなかったけど、私の中で黄連合は大優勝です！

こんな頼りない私についてきてくれた黄連合の皆には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました！そして、黄連合大好きです!!



大切な思い出の一つに

秋創祭実行委員長

「実行委員長をやります！」と言いつつも、最初は実行委員長が務まるだろうかと不安でした。ですが、一生懸命仕事に取り組む実行委員の皆さんに沢山助けられながら実行委員長をやり切ることができました。

当日、ホールに響いた22クラスの歌声はこれまでの練習の成果を物語っていました。そして、他学年の演奏中に実行委員の皆さんが誘導や整列に取り組んでくれたおかげで、スムーズに進行することができました。

「天歌夢奏」というスローガンを掲げた今年の秋創祭は、臨機応変に動いてくれた実行委員、本番に向けて日々頑張ってきた全校生徒、そして困った時に助けてくださった先生方の支えがあったからこそ成功することができました。本当に感謝しています。

一人ひとりが輝いていたこの秋創祭が、全員の大切な思い出の一つになったことを願っています。

最高の合唱

秋創祭副実行委員長

去年までは「先輩」がいた私たちも、今年は引っ張る立場となり、まず感じたのは「自分たちにできるのだろうか」という不安でした。特に、秋創祭副実行委員長という大きな役目を担うことに自信をなくしそうになりました。しかし、秋創祭が終わり、みんなが「楽しかった！」と笑顔でバスに乗って帰る姿を見た瞬間、不安は大きな達成感に変わりました。先生方から「感動した！」と声をかけていただいたことも、本当に嬉しかったです。

中学校生活最後の秋創祭で、クラスみんなで心を合わせて歌えたこと、そして合唱の楽しさを多くの人に伝えられたことは一生忘れられない思い出です。この秋創祭で、副実行委員長という立場を務めさせていただけたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。最高の合唱ができて、本当に幸せでした！